

第2 災害

1 過去の主な風水害

年月日	種別 (名称)	名古屋の記録			県下の被害概要 ①災害の特徴②被害の程度③発生場所④被害額
		最低気圧 (hPa)	最大風速 (m/s) 風向	総雨量 (mm)	
大 元. 9. 22～23 (1912年)	暴風雨	971. 4	28. 2SSE	102. 9	②死者140 負傷者180 家屋全壊6, 000
大 8. 9. 16～17 (1919年)	暴風雨				②死者4 負傷者40 浸水700
大 10. 9. 25～26 (1921年)	暴風雨	986. 7	18. 3SE	43. 9	②死者27 負傷者22
大 14. 8. 14～15 (1925年)	大雨				②死者6 負傷者3 家屋全壊25 浸水20, 000
大 14. 9. 11 (1925年)	暴風雨	996. 0	22. 8SSE	186. 8	②死者12 負傷者3 家屋全壊52 浸水20, 000
大 15. 9. 4 (1926年)	暴風雨	989. 1	20. 8NNW	52. 9	②死者23 負傷者70 家屋全壊166 浸水1, 400
昭 5. 7. 19 (1930年)	大雨				②死者13 負傷者2 家屋全壊13 浸水2, 000
昭 7. 7. 1～2 (1932年)	大雨				②死者26 負傷者9 家屋全壊30 浸水2, 700
昭 9. 9. 21 (1934年)	暴風雨 (室戸台風)	975. 9	32. 9SSE	24. 0	②死者8 負傷者68 家屋全壊85
昭 10. 10. 27 (1935年)	大雨				②死者1 負傷者2 浸水13, 000
昭 11. 10. 2～3 (1936年)	暴風雨	984. 6	12. 7N	198. 2	②死者2 負傷者8 家屋全壊4 浸水15, 000
昭 13. 7. 3～5 (1938年)	大雨				②死者2 家屋全壊6 浸水4, 500
昭 19. 10. 7～8 (1944年)	暴風雨	975. 3	3. 7SSE	80. 8	②死者5 負傷者2 家屋全壊95 浸水700
昭 20. 9. 18 (1945年)	暴風雨 (枕崎台風)	988. 7	20. 2SSE	40. 3	②死者4 負傷者8 家屋全壊400 浸水600
昭 20. 10. 11 (1945年)	暴風雨 (阿久根台風)	997. 1	14. 0SSE	228. 9	②死者1 家屋全壊1 浸水6, 000
昭 25. 9. 3 (1950年)	暴風雨 (ジェーン台風)	995. 4	26. 7SE	47. 4	②死者6 負傷者36 家屋全壊40 浸水300
昭 27. 6. 23～24 (1952年)	暴風雨 (ダイナ台風)	991. 3	13. 7NNE	177. 2	②死者1 家屋全壊3 浸水6, 800
昭 28. 9. 25 (1953年)	暴風雨・高潮 (台風13号)	970. 0	22. 6NNW	178. 1	②死者72 負傷者623 家屋全壊6, 769 浸水90, 000
昭 29. 7. 30 (1954年)	大雨				②死者3 負傷者1 家屋全壊15 浸水6, 870
昭 30. 10. 20 (1955年)	暴風雨 (台風26号)	989. 7	20. 8SSE	34. 3	②死者3 負傷者18 家屋全壊65 半壊61 一部破損113 床上浸水14 床下浸水599
昭 32. 8. 7 (1957年)	大雨 (多治見大雨)				②死者33 負傷者44 家屋全壊88 半壊89 床上浸水3, 547 床下浸水13, 961
昭 33. 8. 25 (1958年)	暴風雨 (台風17号)	999. 0	17. 7SE	139. 9	②死者3 負傷者1 家屋全壊9 半壊25 一部破損248 床上浸水116 床下浸水4, 682
昭 34. 8. 14 (1959年)	大雨	993. 5	13. 4WNW	234. 0	②負傷者1 家屋全壊1 半壊20 一部破損2 床上浸水14 床下浸水80, 826
昭 34. 9. 26 (1959年)	暴風雨・高潮 (伊勢湾台風)	958. 5	37. 0SSE	165. 7	①台風と高潮による災害で伊勢湾を中心に県下全 域の沿岸部に被害が集中した。 ②死者3, 168 行方不明92 負傷者59, 045 家屋全壊23, 334 流失3, 194 半壊97, 049 一部破損287, 059 床上浸水53, 560 床下浸水62, 831 ③県下全域(沿岸部中心) ④3, 224億円

年月日	種別 (名称)	名古屋の記録			県下の被害概要 ①災害の特徴②被害の程度③発生場所④被害額
		最低気圧 (hPa)	最大風速 (m/s) 風向	総雨量 (mm)	
昭 36. 6. 23～29 (1961年)	大雨 (36. 6梅雨 前線豪雨)			398 立田682	①集中豪雨による災害で尾張部を中心に河川の氾濫等の被害が発生した。 ②死者4 負傷者13 行方不明2 家屋全壊29 流失2 半壊72 床上浸水7,969 床下浸水66,654 ③県下全域 ④111億円
昭 36. 9. 16 (1961年)	暴風雨 (第二室戸台風)	971. 9	28. 7SSE	96. 4	①集中豪雨による災害で中小河川の氾濫・暴風雨による竜巻等の被害が発生した。 ②死者3 負傷者146 家屋全壊168 半壊515 床上浸水652 床下浸水8,868 ③尾張部 ④104億円
昭 37. 6. 30～7. 5 (1962年)	大雨 (前線)			103 伊良湖236	①局地的集中豪雨による災害で中小河川の氾濫等の被害が発生した。 ②死者2 負傷者1 家屋全壊2 床上浸水1,605 床下浸水15,501 ③東三河、尾張部
昭 37. 8. 26 (1962年)	暴風雨 (台風14号)	996. 5	23. 3SSE	110. 0	①風水害による災害で県下全域で被害が発生した。 ②死者1 負傷者9 家屋全壊26 半壊28 床上浸水177 床下浸水7,556 ③県下全域 ④42億円
昭 39. 9. 25 (1964年)	暴風雨 (台風20号)	992. 8	22. 0SSE	105. 2	①雨による災害で県下全域で被害が発生した。 ②死者2 負傷者10 家屋全壊6 半壊12 床上浸水23 床下浸水2,298 ③県下全域(主として名古屋、尾張、海部、知多) ④26億円
昭 40. 9. 17 (1965年)	暴風雨 (台風24号)	970. 2	17. 0N	188. 6	①雨による災害で平野部に被害が多く発生した。 ②死者1 負傷者18 家屋全壊12 半壊62 床上浸水1,728 床下浸水49,622 ③県下全域(主として名古屋、海部) ④93億円
昭 41. 10. 12 (1966年)	大雨 (東三河 集中豪雨)			54 田原345	①集中豪雨による災害で東三河の平野部に中小河川の氾濫等の被害が発生した。 ②死者10 負傷者14 家屋全壊18 半壊11 床上浸水11 床下浸水20,747 ③東三河(豊橋、田原中心) ④42億円
昭 43. 8. 29 (1968年)	大雨 (台風10号)	991. 5	15. 7SSE	179 茶臼山587	①集中豪雨による災害で三河山間部に中小河川の氾濫、山(がけ)崩れ等の被害が発生した。 ②死者6 負傷者15 家屋全壊24 半壊24 一部破損45 床上浸水292 床下浸水4,314 ③奥三河(新城及び南・北設楽郡) ④59億円
昭 44. 8. 4～5 (1969年)	大雨 (台風7号)	990. 6	14. 8ESE	64 新城365. 5	①集中豪雨による災害で三河山間部に中小河川の氾濫、山(がけ)崩れ等の被害が発生した。 ②死者3 負傷者5 家屋全壊10 半壊36 一部破損81 床上浸水661 床下浸水3,515 ③奥三河(新城、宝飯郡、南・北設楽郡) ④45億円

年月日	種別 (名称)	名古屋の記録			県下の被害概要 ①災害の特徴②被害の程度③発生場所④被害額
		最低気圧 (hPa)	最大風速 (m/s) 風向	総雨量 (mm)	
昭 45. 7. 29～30 (1970年)	集中豪雨	1, 010. 8	7. 7ENE	123. 5	②死者3 負傷者4 家屋全壊2 半壊7 床上浸水4, 552 床下浸水37, 946 ③尾張部 ④18億円
昭 46. 8. 30～31 (1971年)	大雨 (台風23号)	987. 5	10. 0E	321. 5	②死者4 負傷者15 家屋全壊19 半壊127 一部破損228 床上浸水6, 136 床下浸水59, 160 ③県下全域 ④176億円
昭 47. 7. 12～13 (1972年)	集中豪雨 (47. 7豪雨 台風6号)			289 猿投458	①集中豪雨による災害で西三河山間部に中小河川の氾濫、山(がけ)崩れ等の被害が発生した。 ②死者64 行方不明4 負傷者12 家屋全壊271 半壊287 床上浸水20, 075 床下浸水12, 077 ③西三河(小原、藤岡、豊田、足助) ④302億円
昭 49. 7. 7 (1974年)	豪雨 (七夕豪雨 台風8号)	1, 008. 2	6. 7SE	65 新城323 東栄302 南知多285	①台風と梅雨前線による集中豪雨災害で、中小河川の氾濫、がけ崩れ、橋梁の流失等の被害が発生した。 ②死者3 負傷者12 家屋全壊16 半壊70 一部破損86 床上浸水1, 820 床下浸水11, 800 ③知多、東三河地域(豊橋、蒲郡、南知多 他31市町村) ④195億円
昭 49. 7. 24～25 (1974年)	大雨			139. 8 津島333 常滑315 一宮237	①集中豪雨による災害で、尾張・海部・知多を中心に家屋の浸水被害が多数発生した。 ②死者1 負傷者7 床上浸水7, 248 床下浸水74, 035 ③県下全域 ④92億円
昭 51. 9. 8～13 (1976年)	集中豪雨 (51. 9豪雨 台風17号)	1, 002. 4	10. 2SE	422 一宮682 南知多602	①集中豪雨による災害で、尾張、海部、知多に中小河川の氾濫等の被害が発生した。 ②死者1 負傷者37 家屋全壊14 半壊437 一部破損461 床上浸水13, 050 床下浸水102, 677 ③尾張、海部、知多地域(59市町村) ④378億円
昭 54. 9. 24～25 (1979年)	豪雨			94 名古屋市港区 224 (一時間雨量108)	①雷を伴った前線による局地的な豪雨災害で、家屋の浸水、道路・河川等に被害が発生した。 ②死者2 床上浸水1, 665 床下浸水33, 351 ③県西部地域(名古屋、東海他18市町村) ④26億円
昭 54. 9. 28～10. 1 (1979年)	暴風雨 (台風16号)	981. 9 小牧 978. 2	17. 7SE 伊良湖 21. 3S	50 茶臼山170	①台風の通過による災害で家屋損壊、農水産物、公共土木施設等に被害が発生した。 ②死者1 負傷者23 家屋全壊2 半壊20 一部破損217 床上浸水9 床下浸水178 ③県全域 ④65億円
昭 54. 10. 18～19 (1979年)	暴風雨 (台風20号)	971. 9 小牧 969. 4	14. 2W 伊良湖 20. 0S	80 作手282 茶臼山279 鳳来233	①台風の通過による災害で家屋損壊、農水産物、公共土木施設等に被害が発生した。 ②行方不明者1 負傷者8 家屋全壊4 半壊5 一部破損26 床上浸水39 床下浸水314 ③県全域 ④113億円
昭 57. 8. 1～3 (1982年)	暴風雨 (台風10号と 低気圧)	975. 1 伊良湖 973. 0	9. 4SSW 伊良湖 21. 1E	184. 5 鳳来501 伊良湖444	①台風と低気圧による大雨に伴う災害で家屋損壊、農地農業用施設、農林水産物、公共土木施設等に被害が発生した。 ②負傷者9 家屋全壊1 半壊4 一部破損91 床上浸水230 床下浸水2, 777 ③県全域 ④131億円

年月日	種別 (名称)	名古屋の記録			県下の被害概要 ①災害の特徴②被害の程度③発生場所④被害額
		最低気圧 (hPa)	最大風速 (m/s) 風向	総雨量 (mm)	
昭 57.9.11～12 (1982年)	暴風雨 (台風18号)	984.1 伊良湖 980.5	10.3N 伊良湖 19.7NNW	134.0 伊良湖 306.5	①台風の通過による災害で家屋損壊、農林産物、公共土木施設等に被害が発生した。 ②死者1 負傷者1 家屋半壊1 一部破損4 床上浸水7 床下浸水324 ③主として県東部 ④23億円
昭 58.8.16～17 (1983年)	暴風雨 (台風5号)	982.0 伊良湖 974.9	7.2WNW 伊良湖 19.0ENE	100 豊橋419	①台風の通過による災害で家屋損壊、農林産物、公共土木施設等に被害が発生した。 ②負傷者1 家屋全壊1 半壊1 一部破損3 床上浸水33 床下浸水356 ③主として県東部 ④約13億円
昭 58.9.27～28 (1983年)	暴風雨 (台風10号)	992.2	9.5N 伊良湖 11.2SSE	234 小原291 茶臼山305	①台風の通過、特に豪雨による災害で家屋損壊、農水産物、公共土木施設、農林水産業施設等に被害が発生した。 ②死者5 負傷者1 家屋全壊2 半壊1 一部破損25 床上浸水762 床下浸水16,974 ③主として県西部 ④約28億円
平 元.9.2～4 (1989年)	大雨			132 茶臼山325	①低気圧に伴う寒冷前線による災害 ②死者1 負傷者3 家屋全壊1 一部破損2 床上浸水3 床下浸水139 ③県全域 ④約24億円
平 元.9.19～20 (1989年)	台風22号			47 茶臼山295	①台風の通過、特に東加茂郡を中心とした豪雨による土砂災害により家屋損壊、農水産物、公共土木施設、農林水産業施設等に災害が発生した。 ②死者2 負傷者1 家屋全壊18 半壊11 一部破損9 床上浸水121 床下浸水134 ③県全域 ④約92億円
平 2.9.19～20 (1990年)	台風19号	972.5 伊良湖 976.9	20.1SSE 伊良湖 26.2S	95 作手254	①台風の通過による災害で、特に農業用施設、農産物の被害が著しかった。 ②負傷者29 家屋全壊2 半壊28 一部破損2,297 床上浸水67 床下浸水1,408 ③県全域 ④約153億円
					以下様式一部変更
平 3.9.18～19 (1991年)	大雨 (台風第18号・前線)	総降水量 1時間降水量	名古屋 南知多 名古屋 東海 南知多	242mm 316mm 57mm 55mm 48mm	①台風18号の接近に伴い、本州南岸の秋雨前線の活動が活発化した。このため、名古屋市3区(北・緑・天白)及び春日井市では、災害救助法が適用された。 ②死者2 軽傷者1 住家の全壊2 一部損壊9 床上浸水3,713 床下浸水12,131 ③県全域 ④約60億円
平 6.9.29～30 (1994年)	暴風雨・竜巻 (台風第26号)	風速 瞬間風速 総降水量 1時間降水量	名古屋 名古屋 作手 作手	SSE19.4m/s SSE36.7m/s 235mm 48mm	①台風その他、竜巻が発生した。 ②負傷者37 住家の全壊8 半壊113 一部損壊981 床上浸水137 床下浸水456 ③県内全域 ④約53億円
平 10.9.21～23 (1998年)	暴風雨 (台風第7・8号)	風速 瞬間風速 総降水量 1時間降水量	名古屋 名古屋 茶臼山 作手	SSE21.5m/s SSE42.6m/s 329mm 63mm	①台風8号が21日、7号が22日と続いて上陸。8号は雨、7号は風による被害が大きかった。交通網が大混乱し、農業被害も大きかった。 ②死者3 負傷者151 住家の全壊8 半壊35 一部損壊661 ③県内全域 ④約33億円

年月日	種別 (名称)	名古屋の記録			県下の被害概要 ①災害の特徴②被害の程度③発生場所④被害額
		最低気圧 (hPa)	最大風速 (m/s) 風向	総雨量 (mm)	
平 11. 9. 24～26 (1999年)	竜巻 (台風第18号)	風速 瞬間風速	名古屋 伊良湖 名古屋 伊良湖	SSE11. 2m/s S11. 0m/s S23m/s S20. 5m/s	①台風18号の外側を取り巻く積乱雲が、東海地方の南海上から県沿岸にかかり、4個の竜巻が相次いで発生した。このため、豊橋市では、被災者生活再建支援法(法律第66号)が、平成10年11月6日施行されて以来、本県で初めて同法の適用となった。 ②負傷者453 住家の全壊41 半壊311 一部損壊1, 052 ③主として県東部 ④約21億円
平 12. 9. 11～12 (2000年)	大雨 (台風第14号・前線) 東海豪雨	総降水量 1時間降水量	名古屋 東海 蟹江 一宮 稲武 蒲郡 名古屋 東海 蟹江 一宮 稲武 蒲郡	566. 5mm 589mm 365mm 293mm 467mm 249mm 97mm 114mm 78mm 54mm 70mm 55mm	①秋雨前線に台風14号からの暖かく湿った空気が多量に流れ込んだため、前線の活動が活発となり、愛知県を中心とした東海地方で記録的な大雨となった。このため、23の市町村が避難勧告・指示を発令し、63, 000人以上が避難され、21市町村で、災害救助法及び被災者生活再建支援法の適用がされた。また、この災害が、激甚災害に指定され、中小企業支援措置及び農地・農業施設用支援並びに林道の災害復旧事業支援措置がなされ、旭町、稲武町が局地激甚災害(公共土木施設分)の指定を受けた。 ②新川をはじめ県内河川の破堤20 越水319 死者7 負傷者107 住家の全壊18 半壊154 一部損壊147 床上浸水22, 078 床下浸水39, 728 ③県内全域 ④約2, 800億円
平 13. 8. 21～22 (2001年)	暴風雨 (台風第11号)	総降水量 1時間降水量	茶臼山 作手 岡崎 茶臼山 南知多 一色 鳳来	330mm 313mm 255mm 34mm 34mm 33mm 32mm	①台風の通過による災害 ②死者1 負傷者1 床上浸水3 床下浸水165 ③県内全域 ④約3億円
平 15. 8. 8～9 (2003年)	暴風雨 (台風第10号)	総降水量 瞬間風速	茶臼山 作手 名古屋	382mm 336mm ESE28m/s	①台風の通過による災害 ②負傷者5 一部損壊5 床上浸水1 床下浸水15 ③県内全域 ④約24億円
平 16. 6. 21 (2004年)	暴風雨 (台風第6号)	総降水量 瞬間風速	茶臼山 名古屋 伊良湖	284mm 34m/s 30m/s	①台風通過による災害 ②負傷者27 半壊1 一部損壊16 床上浸水1 床下浸水3 ③県内全域 ④約13億円
平 16. 10. 20～21 (2004年)	暴風雨 (台風第23号)	総降水量 瞬間風速	茶臼山 名古屋 伊良湖	265mm S33m/s SE35m/s	①台風通過による災害 ②死者1 負傷者18 半壊1 一部損壊41 床上浸水21 床下浸水160 ③県内全域 ④約17億円
平 20. 8. 28～30 (2008年)	平成20年8月末 豪雨	総降水量	岡崎 蒲郡 豊橋 一宮 東海 名古屋 伊良湖 一色 愛西 作手 阿蔵 田原 豊田 新城 南知多	447. 5mm 366. 0mm 351. 5mm 272. 0mm 240. 0mm 237. 0mm 226. 0mm 209. 0mm 202. 5mm 191. 0mm 186. 5mm 171. 0mm 169. 5mm 163. 0mm 161. 5mm	①本州付近に停滞した前線に向かって南から非常に湿った空気の流れ込みが強まり、大気の状態が不安定となって、東海などで記録的な豪雨となった。 ②死者2 負傷者5 全壊5 半壊3 一部破損28 床上浸水2, 477 床下浸水14, 108 ③県内全域 ④約107億円

年月日	種別 (名称)	名古屋の記録			県下の被害概要 ①災害の特徴②被害の程度③発生場所④被害額
		最低気圧 (hPa)	最大風速 (m/s) 風向	総雨量 (mm)	
平 21. 10. 7～8 (2009年)	暴風雨 (台風第18号)	総降水量 瞬間風速	東海 名古屋 伊良湖	206. 0mm 29. 9m/s 39. 9m/s	①台風18号が知多半島付近に上陸し、特に農業用施設、農産物の被害が著しかった。 ②負傷者19名 家屋全壊6棟 半壊41棟 一部損壊2, 092棟 床上浸水246棟 床下浸水1, 235棟 ③県内全域 ④約134億円
平 23. 9. 20～21 (2011年)	暴風雨 (台風第15号)	総降水量 瞬間風速	名古屋 茶臼山 阿蔵 名古屋 伊良湖	274. 0mm 367. 0mm 383. 5mm 22. 0m/s 33. 0m/s	①奄美大島近海で迷走後に勢力を強め、21日14時頃に浜松市付近に上陸。名古屋では100万人を超える市民に対し避難勧告が出された。 ②死者4名 負傷者8名 家屋一部損壊69棟 床上浸水239棟 床下浸水572棟 ③県内全域 ④約30億円
平 24. 6. 19 (2012年)	暴風雨 (台風第15号)	総降水量 瞬間風速	名古屋 阿蔵 名古屋 伊良湖	53. 0mm 239. 0mm 18. 8m/s 27. 7m/s	①19日17時過ぎに和歌山県南部に上陸した台風第4号は、その後紀伊半島の東岸を北東に進み、伊勢湾を通過し、20時過ぎに愛知県東部に再上陸した。豊田市阿蔵では1時間降水量65. 5mmの非常に激しい雨を観測するなど、東部を中心に大雨となった。 ②負傷者6名 家屋一部損壊8棟 床下浸水4棟 ③県内全域 ④約5億円

(愛知県地域防災計画から抜粋)

2 洪水

(1) 洪水ハザードマップ



洪水ハザードマップについて

洪水ハザードマップは、堤防の決壊や河川の氾濫等により、浸水が想定される範囲と浸水想定場所等の施設を示したものです。浸水の範囲や深さの規模はあくまでも想定であり、様々な条件によって想定より大きくなる場合があります。

浸水想定区域図及び浸水予想図の諸元

本マップには、【1】の洪水想定区域図【2】の洪水規模、及び【3】～【5】の洪水予備図（想定最大規模）を記載しております。
想定最大規模の洪水想定は河川及び湖沼水位は、想定し得る最大流域の降雨によって決まることが想定される降雨及び洪水の状況を示したもので

- | | | |
|---------------------------|---------|--|
| ① 本溪湖(本溪木智洞) | 国家AAAA级 | 本溪湖位于本溪市区南郊, 是太子河上游, 水面面积 1000 公顷, 水深 10 米, 水质清澈, 是避暑胜地。 |
| ② 西州湖(本溪木智洞) | 国家AAAA级 | 西州湖位于本溪市区南郊, 是太子河上游, 水面面积 1000 公顷, 水深 10 米, 水质清澈, 是避暑胜地。 |
| ③ 西州湖(本溪木智洞) 五寨山(本溪木智洞) | 国家AAAA级 | 西州湖位于本溪市区南郊, 是太子河上游, 水面面积 1000 公顷, 水深 10 米, 水质清澈, 是避暑胜地。 |
| ④ 日光山水库(本溪木智洞) 五寨山(本溪木智洞) | 国家AAAA级 | 日光山水库位于本溪市区南郊, 是太子河上游, 水面面积 1000 公顷, 水深 10 米, 水质清澈, 是避暑胜地。 |
| ⑤ 本溪湖(本溪木智洞) 五寨山(本溪木智洞) | 国家AAAA级 | 本溪湖位于本溪市区南郊, 是太子河上游, 水面面积 1000 公顷, 水深 10 米, 水质清澈, 是避暑胜地。 |

マップの使い方

- 1
白雲や緑木を、学校の周辺の危険箇所や流水の源を、安全ハザードマップで確認しましょう。
 - 2
新緑場所や新緑緑地、水辺との連絡設備を確認しましょう。
 - 3
いざというときの安全な避難行動や出回からの備えを確認しましょう。

早期立退き避難が必要な区域

浸水の深さが3.0m
以上になる区域
建築物が1階建ての場合、
浸水の深さが
0.5m以上になる区域

又は

洪水時に
家屋倒壊の危険性が
ある区域
(家屋倒壊等
危険想定区域)

避難先や連絡先

■ 避難先

事前に確認して配製しておきましょう。

西曆元 (西一英曆)	西曆元 (西一英曆)

■緊急連絡先

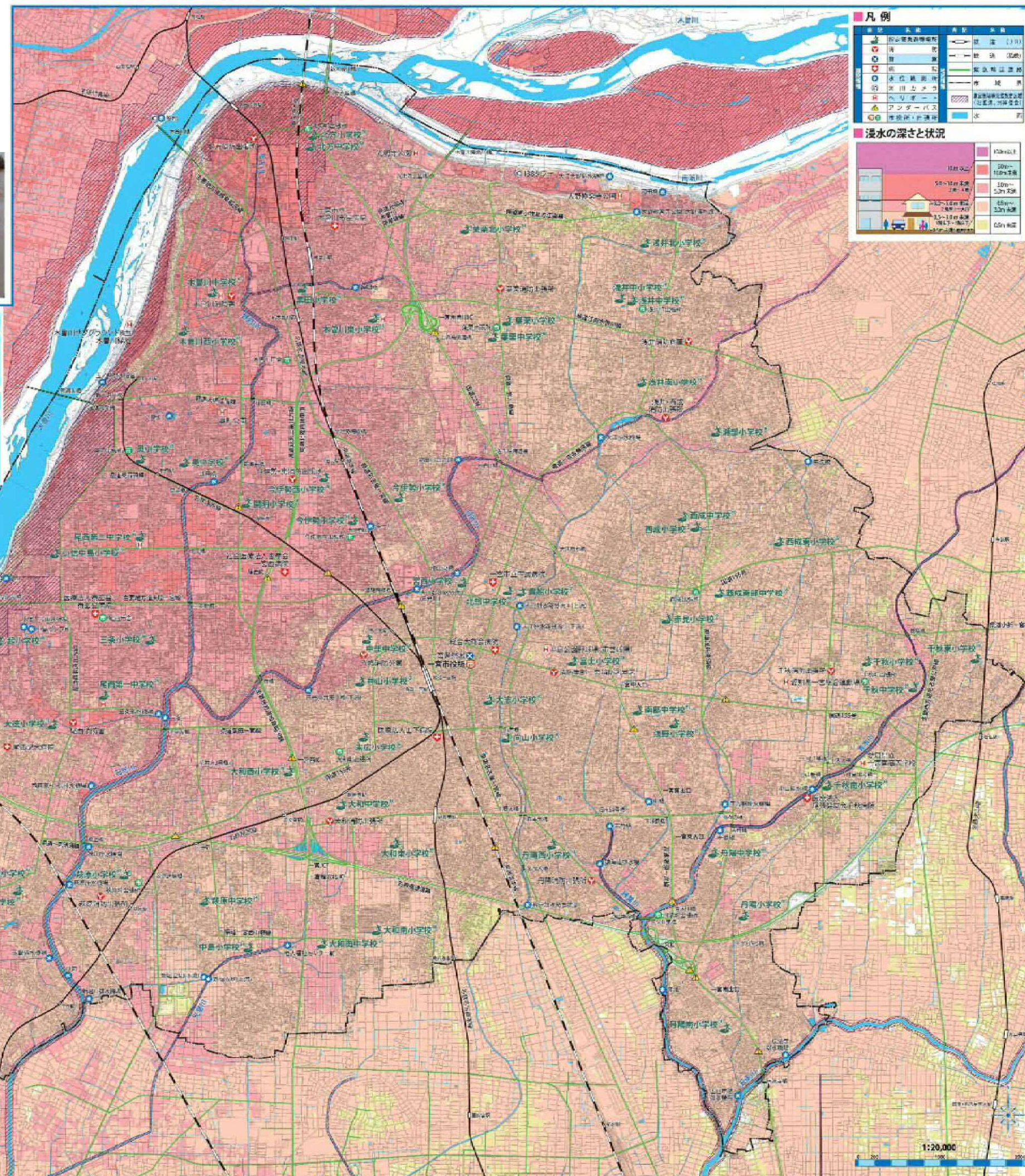
連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
災害対策本部	0586-72-1390(本局専用)	災害対策本部	0586-72-0190(代)
一宮市役所	0586-28-8100(代)	一宮警察署	0586-24-0110(代)

■ 家族の連絡先等

親戚や知人等も連絡先を記載しておきましょう。

氏 名	血液型	電話番号(携帯・会社・学校)	E-Mail(メールアドレス等)

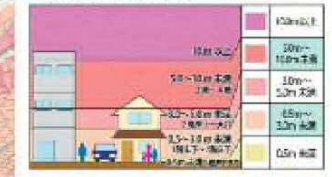
— 中国网络经济论 : 0086-28-882-92



■ 凡例

東部 水産		西部 水産	
	魚(魚類)		貝類(二枚貝)
	蟹		蝦類(海老)
	海老		墨魚(イカ)
	イカ		金魚(サケ)
	サケ		鯖(サバ)
	ブリ		鯛(マダイ)
	マダイ		鯛(ヒメマス)
	ヒメマス		鯛(サマシロ)
	サマシロ		鯛(サマシロ)
	サマシロ		鯛(サマシロ)
	サマシロ		鯛(サマシロ)
	サマシロ		鯛(サマシロ)
	サマシロ		鯛(サマシロ)
	サマシロ		鯛(サマシロ)
	サマシロ		鯛(サマシロ)
	サマシロ		鯛(サマシロ)
	サマシロ		鯛(サマシロ)
	サマシロ		鯛(サマシロ)
	サマシロ		鯛(サマシロ)
	サマシロ		鯛(サマシロ)
	サマシロ		鯛(サマシロ)
	サマシロ		鯛(サマシロ)
	サマシロ		鯛(サマシロ)

■ 浸水の深さと状況



指定緊急避難場所一覧

[illegible]**とるべき避難行動**[illegible]

避難の原則

[illegible]

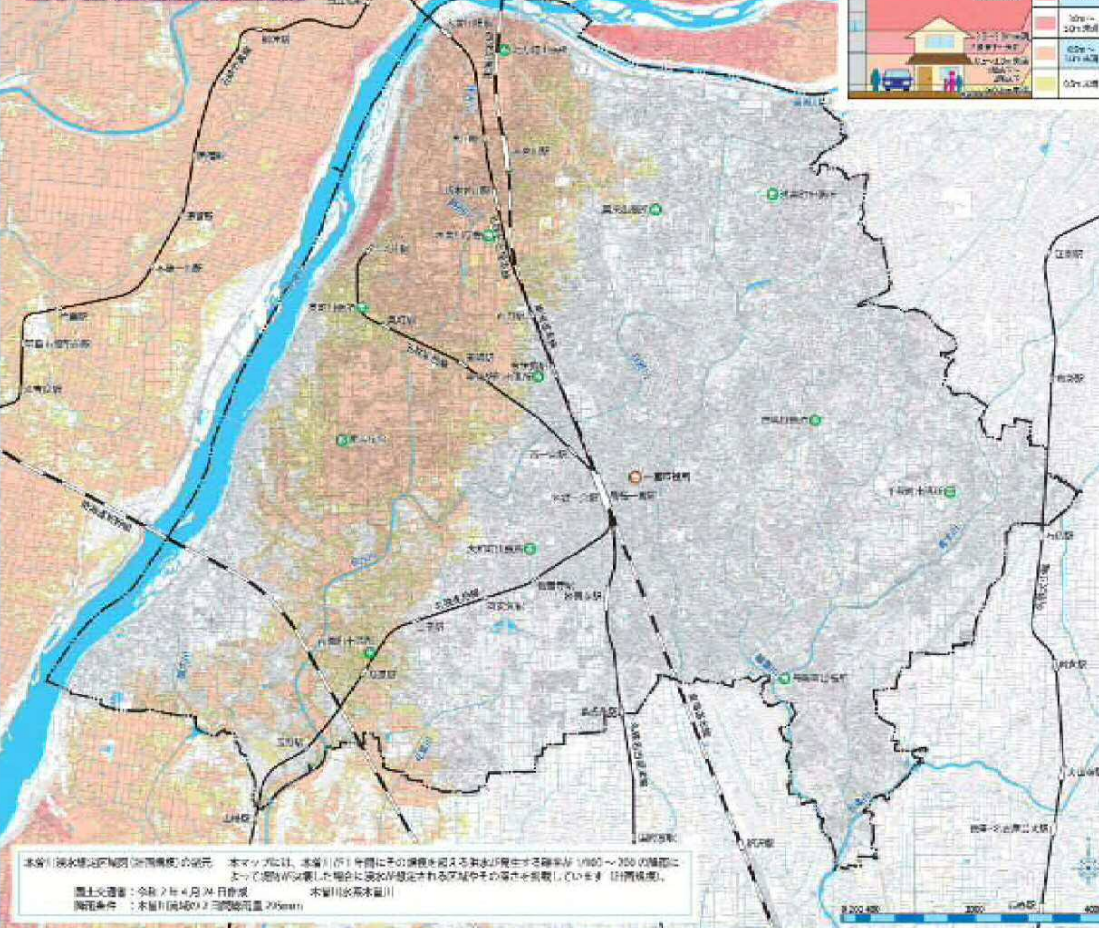
垂直避難による避難生活が続くと、浸水が引くまでの間は、下のような困難が待ち受けています。



想定最大規模以外の浸水想定区域図

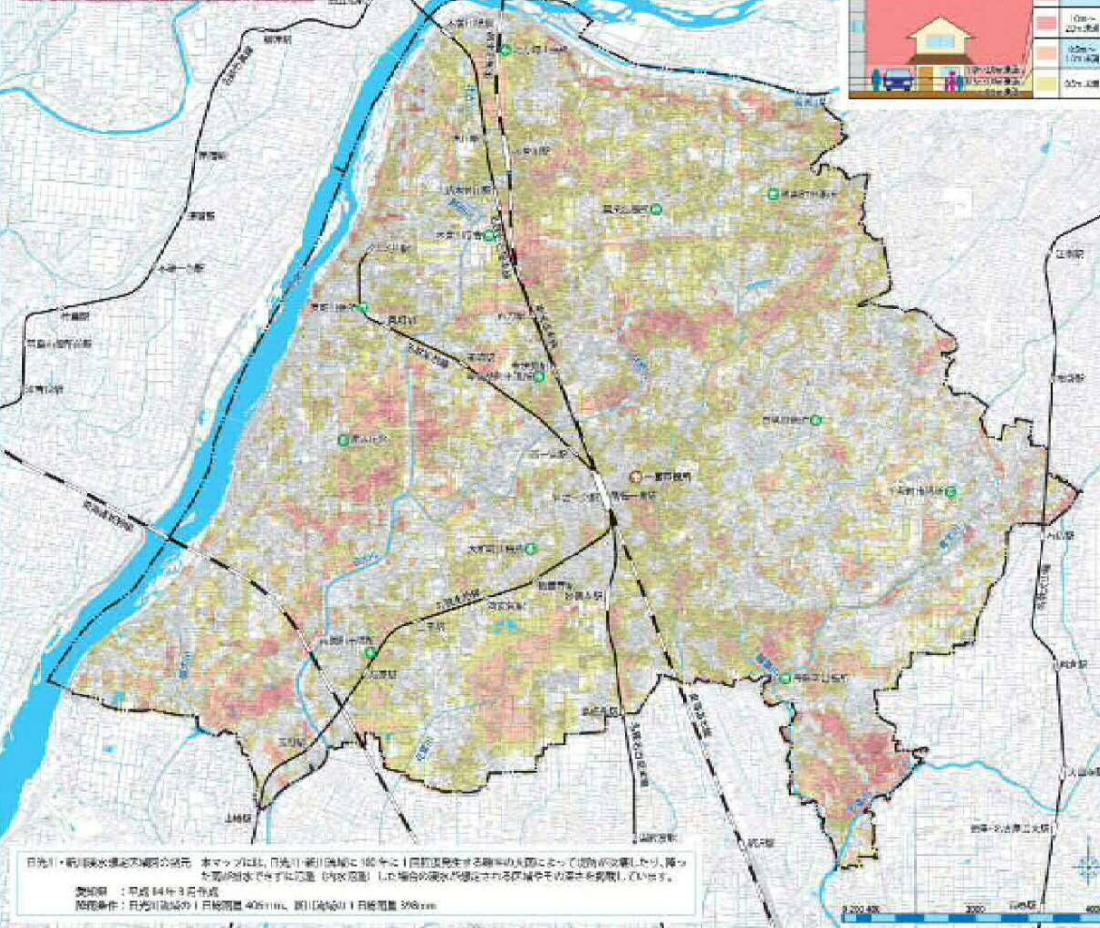
本曾川浸水想定区域図(計画規模)

100年～200年(1)回復期の大雨による洪水



日光川・新川浸水想定区域図

100年(1)回復期の大雨による洪水



情報の入手先

開く情報(PULL)

テレビやラジオ、インターネットから積極的に気象情報や避難情報を入手しましょう。
洪水ハザードマップに記載されている指定緊急避難場所については作成時から変更する場合があります。
最新の情報は、一宮市公式ウェブサイトを確認ください。
情報は、可能な限り平常時に調べておきましょう。



河川等水位情報等の防災情報入手先

一宮市公式ウェブサイト

避難情報や避難場所の情報を提供しています。

一宮市

<https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/>



気象庁

市内の警報、雨雲の動き等、様々な防災情報を確認できます。

気象庁

<http://www.jma.go.jp/jma/>



一宮市地図情報サイト138マップ

洪水ハザードマップが場所を特定して確認できます。

138マップ

<https://www.sonicweb-as.jp/ichinomiya/>



国土交通省 川の防災情報

河川水位や河川カメラ、雨量等の防災情報を確認できます。

川の防災情報

<https://www.river.go.jp/>



一宮市防災情報公式 Twitter

防災情報の発信やツィッタを利用した市内の情報を確認できます。

アカウント名: @138_bousai

https://twitter.com/138_bousai



愛知県 川の防災情報

県管理の河川の水位や雨量を確認できます。

愛知県川の防災情報

<https://www.kasen-aichi.jp/>



Yahoo! 防災速報アプリ

市からの緊急情報を受信できます。

防災速報アプリ

<https://smg.yahoo.co.jp/>



河川等水位情報

市内の水位や雨量を確認できます。

一宮市河川等水位情報

<https://ichinomiya.keikai.jp/map3.9/138no-96no-1>



受け取る情報(PUSH)

一宮市の「あんしん・防災ねっと」について

<https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/kurashi/saigai/1010045/1000571.html>

このサービスはスマートフォンや携帯電話から、情報を受け取ることができます。災害関連情報を配信する災害緊急メールだけでなく防災・交通安全等の多岐にわたって情報を受け取ることができます。

閲覧方法

<http://ichinomiya-city.site.ktaiwork.jp/>

右記のQRコードを読み取るか、左記のアドレスを入力してください。



登録用アドレス

メールでの配信を受け取る場合は以下の登録用アドレス(言語別)に空メールを送信し、登録を行ってください。

lanshine@138bousai.jp

日本語

eanshine@138bousai.jp

英語

canshine@138bousai.jp

中国語

pamshin@138bousai.jp

ポルトガル語

kanshine@138bousai.jp

韓国語

※メールアドレスを登録することで、「災害時緊急メール」等を受信できるようになります。お迷惑メール対策として、138bousai.jp ドメインからのメール及びURL 付きのメールを許可してください。※パソコンのメールアドレスでも災害時緊急メール等の登録はできますが、ご自分メールアドレスの受信を確認してください。お問い合わせについては防災課(0120-27-0933)までお問い合わせください。0120-27-0933 株式会社アルのダイヤルコールセンター

一宮市緊急速報メール(エリアメール)

自治体事業者のサービスを利用して、市内滞在の方を対象に情報配信を行っています。受信設定をONにしてください。

詳しい受信設定方法や対応機種については、通信事業者各社のウェブサイトでご確認ください。

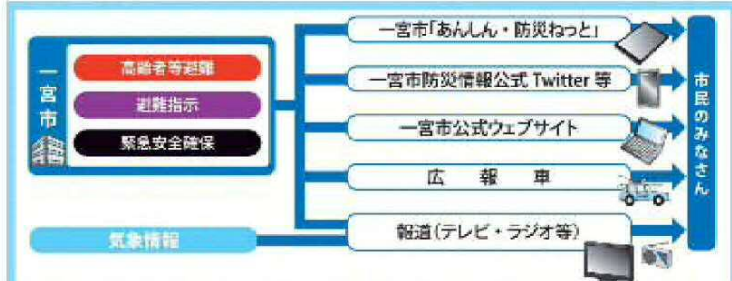
※対応していない機種もあります。



災害時の情報伝達経路と発表される情報

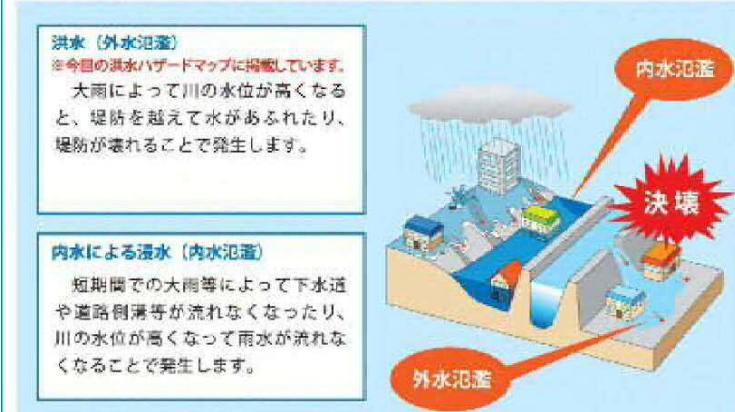
洪水や災害の発生が予想される場合は、気象庁や一宮市等から、メール、公式ウェブサイト、Twitter等で情報を発信します。

情報伝達の流れ



洪水や内水による浸水

洪水と内水による浸水の違い



発生メカニズム



災害時に発表される情報(タイムライン) —警戒レベル・避難情報—

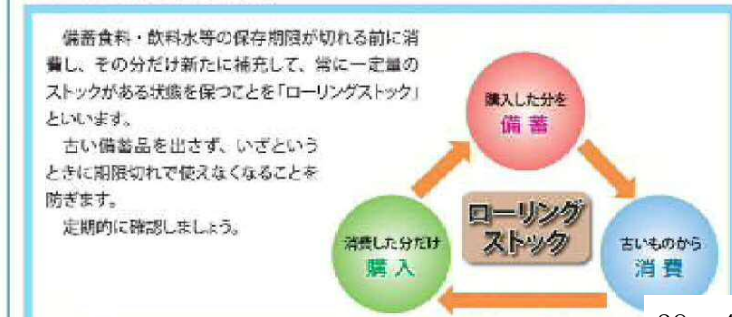
気象状況	気象庁等の情報	市が発令する避難情報等	市民のみなさんがとるべき行動	警戒レベル
大雨の発令～約1日前	早期注意情報(被害の可能性がある)		災害への心構えを高める	1
大雨の発令～数時間前	大雨注意情報(被害の可能性がある) 氾濫注意情報		洪水ハザードマップ等で避難行動を確認 避難場所が指定されていない場合でも、身の危険を感じたら、すぐに避難しましょう。	2
大雨の発令～2時間程度前	氾濫警戒情報 大雨警報 洪水警報		高齢者等は避難 高齢者や身体の不自由な方は、避難を開始しましょう。 河川沿いに住んでいる方は、避難場所が近い大宮、避難場所を確認しましょう。 その他の方は、避難の準備をしましょう。 避難の準備をしましょう。	3
	氾濫危険情報	避難指示	全員避難 安全な場所へ避難しましょう。 指定避難場所が避難場所ではありません。 指定避難場所から避難することによって命の危険が迫るような状況では、自宅のより安全な場所へ避難しましょう。 お部屋に備えておきましょう。	4
数十年に一度の大雨	氾濫発生情報 大雨特別警報	緊急安全確保 命の危険、直ちに安全確保	危険な区域からまだ避難できない方は、命の危険、直ちに安全確保 大雨特別警報が発令された場合は、命の危険が迫るような状況では、自宅のより安全な場所へ避難しましょう。 お部屋に備えておきましょう。	5

非常持出し品・備蓄品

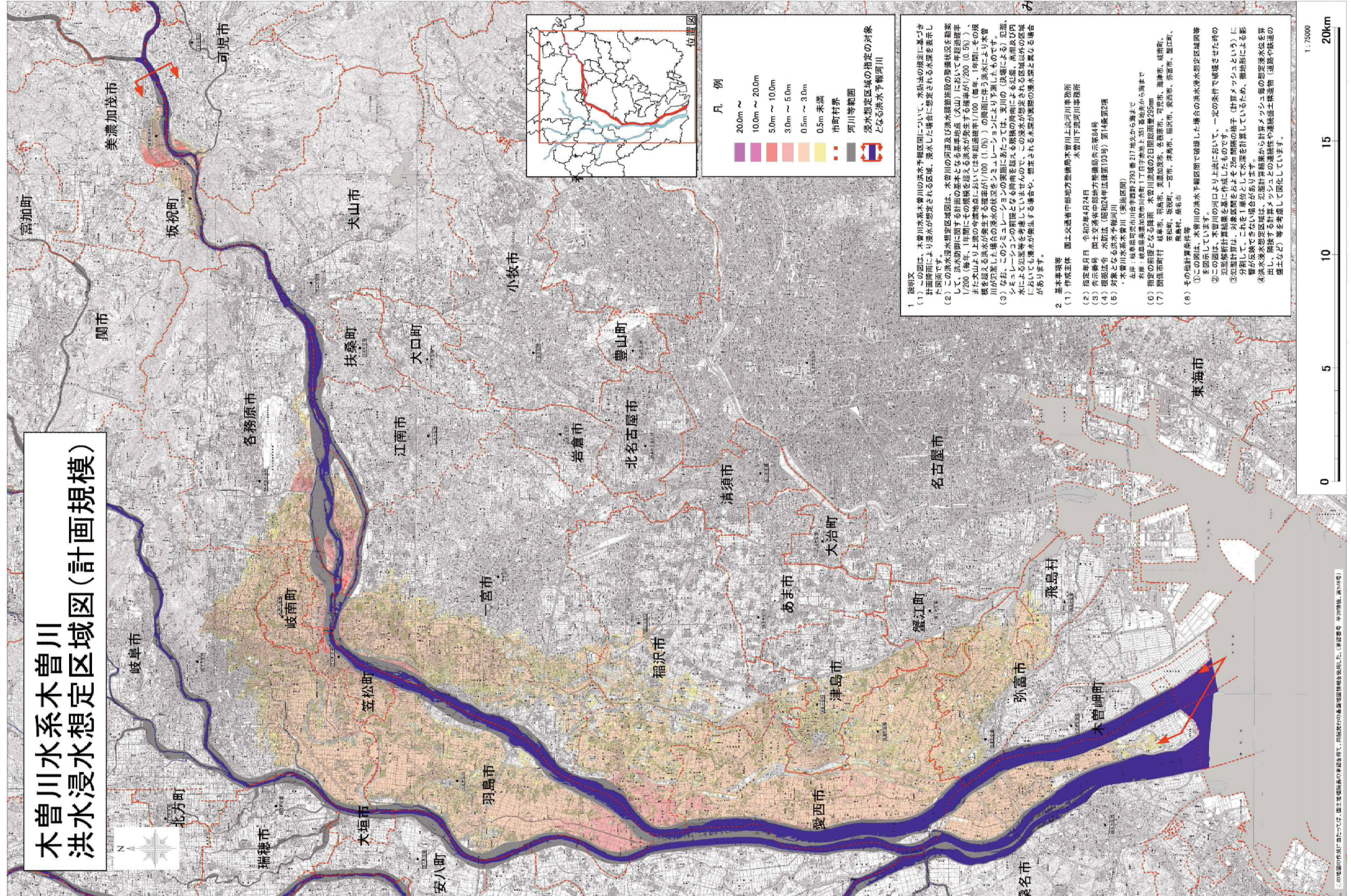
避難する場合に備えて、日頃からリュックサック等に必需品をまとめ、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

食料	救急・安全対策	貴重品
☐ 飲料水(1人1日3リットルを目安) ☐ 非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品等) ☐ 懐中電灯(電池、ランタン、充電式) ☐ 現金とクレジットカード ☐ 身分証明書(運転免許、パスポート等) ☐ 保険証 ☐ 現金とクレジットカード ☐ 現金とクレジットカード ☐ 現金とクレジットカード	☐ 救急箱(絆創膏、消毒液等) ☐ 防災グッズ(ヘルメット、ヘルメット、ヘルメット) ☐ 防災グッズ(ヘルメット、ヘルメット、ヘルメット) ☐ 防災グッズ(ヘルメット、ヘルメット、ヘルメット) ☐ 防災グッズ(ヘルメット、ヘルメット、ヘルメット) ☐ 防災グッズ(ヘルメット、ヘルメット、ヘルメット) ☐ 防災グッズ(ヘルメット、ヘルメット、ヘルメット)	☐ 現金(現金、現金) ☐ 現金(現金、現金) ☐ 現金(現金、現金) ☐ 現金(現金、現金) ☐ 現金(現金、現金) ☐ 現金(現金、現金) ☐ 現金(現金、現金)

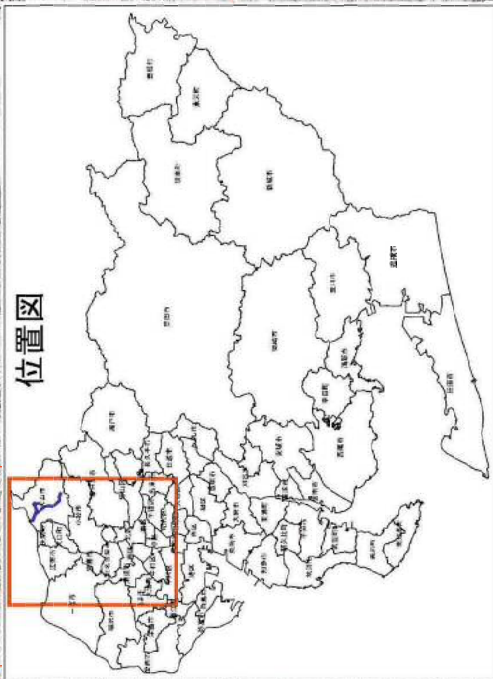
ローリングストック(循環備蓄)



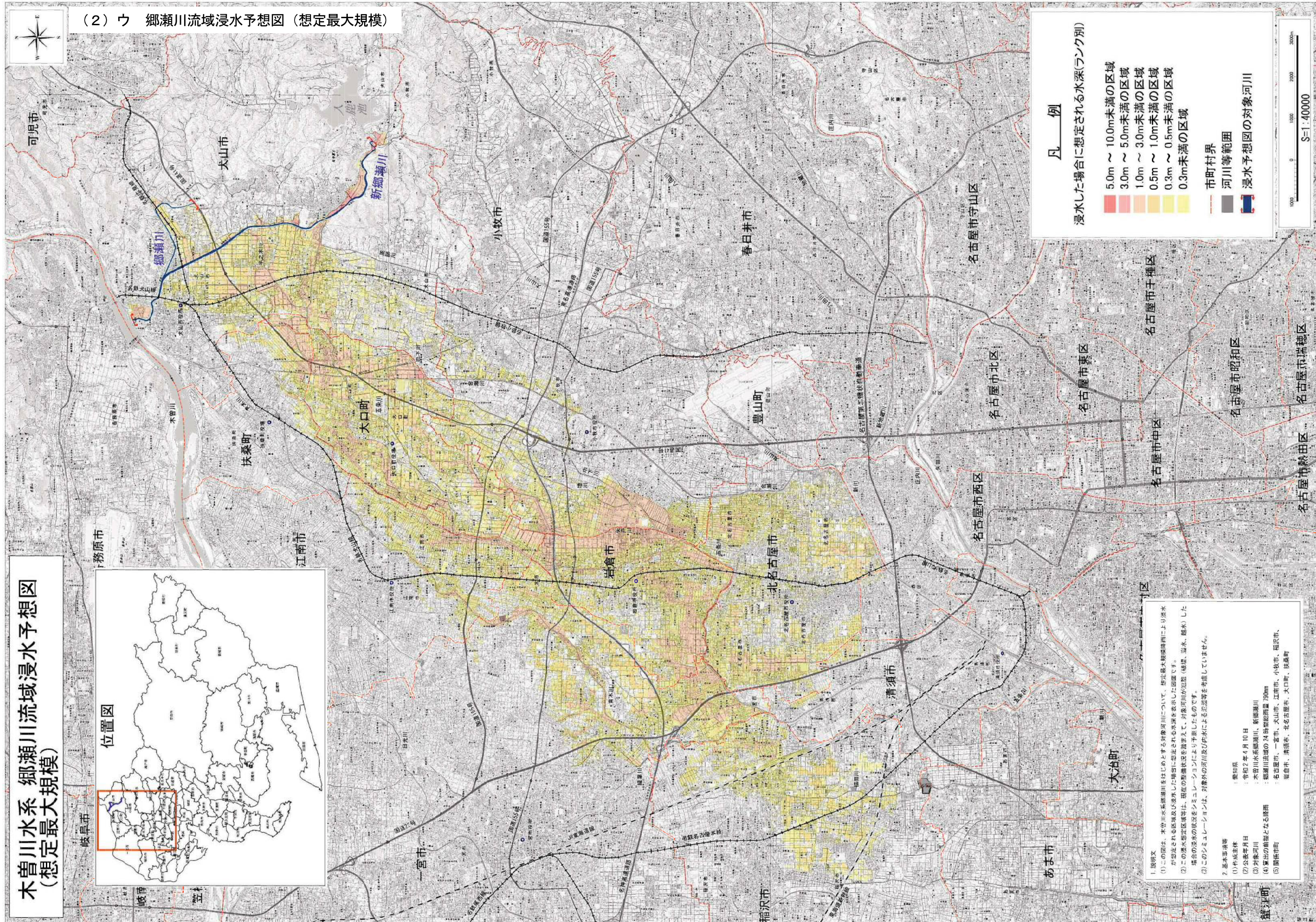
(2) イ 木曽川洪水浸水想定区域図(計画規模)



木曽川水系 郷瀬川流域浸水予想図
(想定最大規模)



(2) ウ 郷瀬川流域浸水予想図 (想定最大規模)



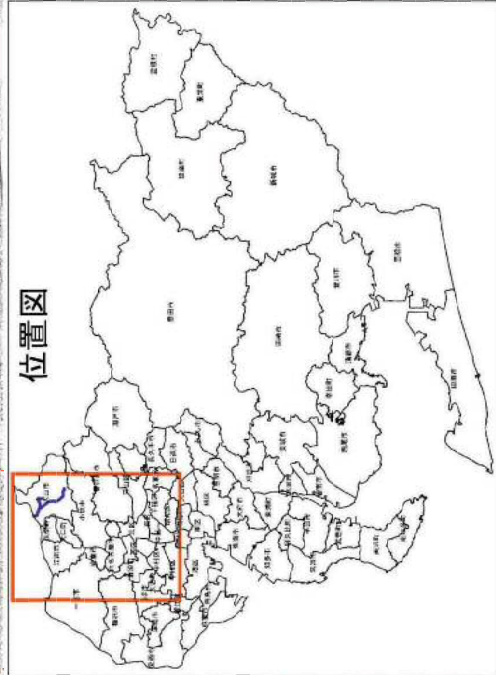
1. 説明文
(1) この図は、木曽川水系郷瀬川をはじめとする対象河川について、想定最大規模降雨により浸水が想定される区域及び浸水した場合には想定される水深を示した図面です。
(2) この浸水想定区域等は、現在の整備状況に基づき、対象河川の氾濫(越流、溢水、越水)した場合には、浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
(3) このシミュレーションは、対象外の河川及び雨水による氾濫等を考慮していません。

2. 基本事項等
(1) 作成主体 : 愛知県
(2) 公表年月日 : 令和2年4月10日
(3) 対象河川 : 本牧川水系郷瀬川、新郷瀬川
(4) 算出の雨量となる降雨 : 郷瀬川流域の24時間総雨量150mm
(5) 関係市町 : 名古屋市、一宮市、犬山市、江南市、清須市、北名古屋市、大口町、扶桑町、稲沢市、春日井市、小牧市、岩倉市、北名古屋市、清須市、あま市、大治町

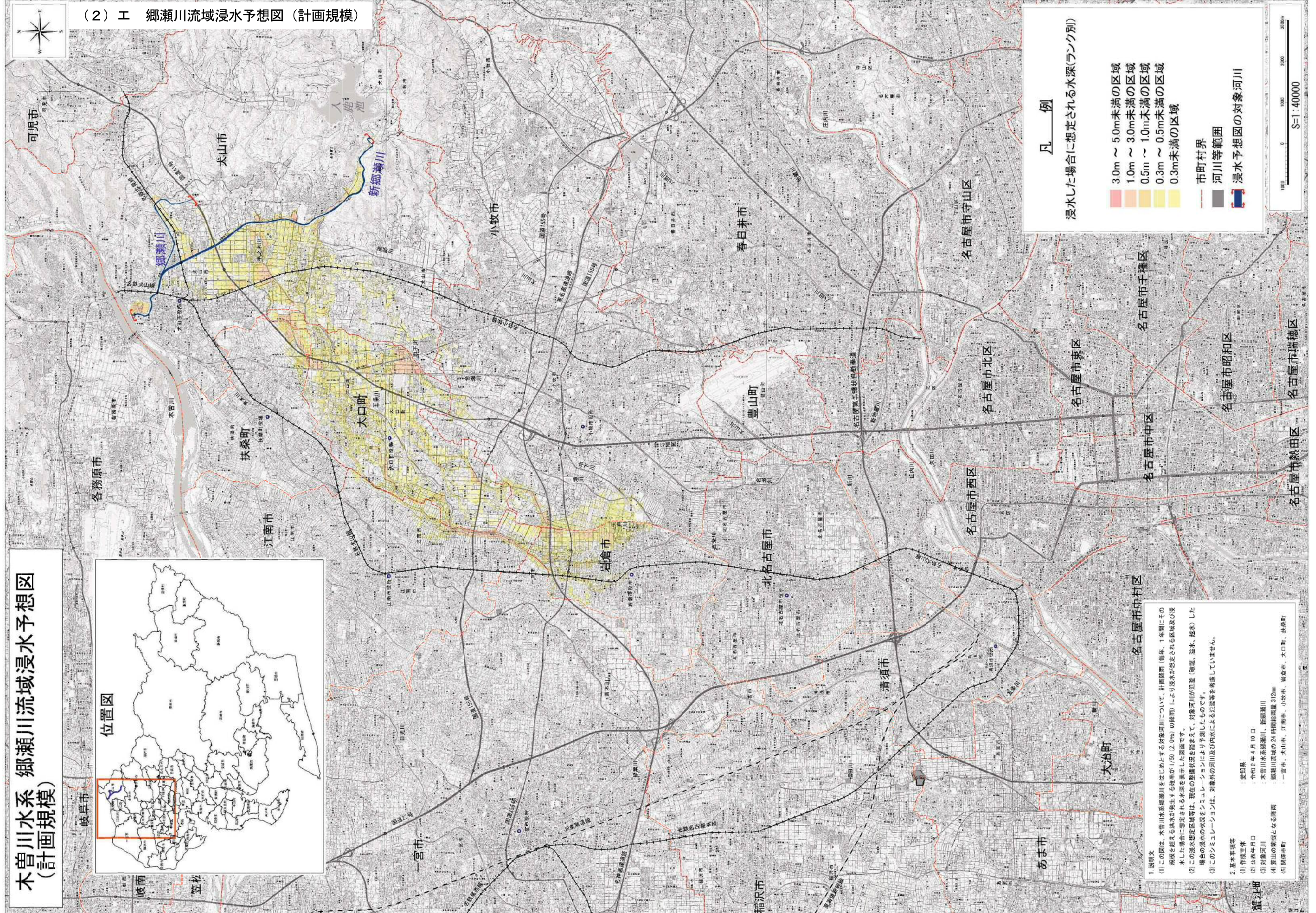
この成果は、中部経済産業局所長の承認を得て、同事務所作成の航空レーザ測量成果(オリジナルデータ、グリッドデータ、クラウドデータ)を基に、令和2年4月10日付中部経済産業局第3号の承認を得て、同局所長の承認を得て、同局所長の電子署名(図2500)を付したものです(測量法に基づき国土地理院表示部(複製)R11J1402)。また、本図を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければなりません。

木曽川水系 郷瀬川流域浸水予想図
(計画規模)

位置図



(2) エ 郷瀬川流域浸水予想図 (計画規模)

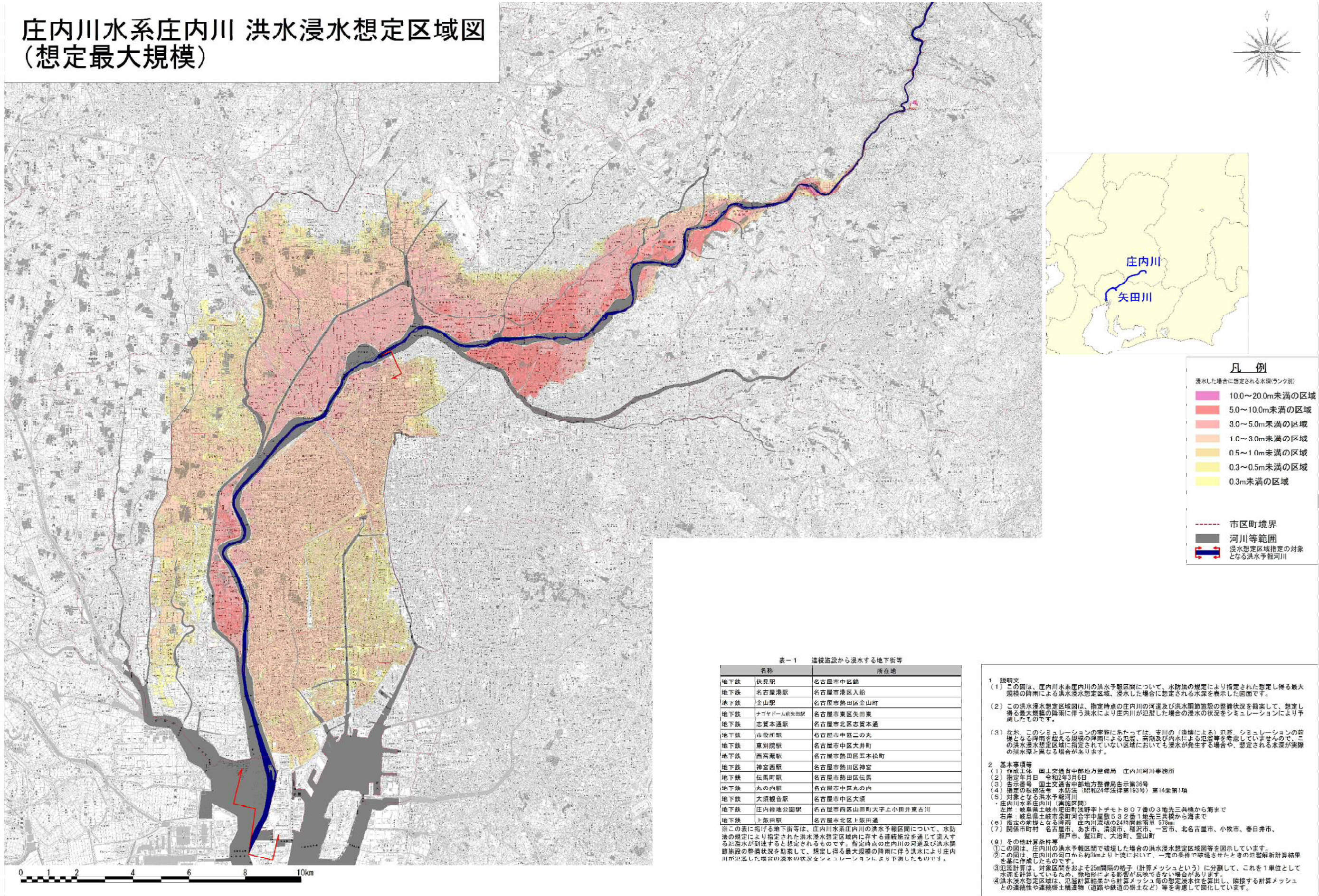


1. 説明文
(1) この図は、木曽川水系郷瀬川をはたし、対象河川について、計画降雨(毎時、1年間にその
超過を越える洪水が発生する確率が1/50(2.0%)の降雨)により浸水が想定される区域及び浸
水した場合には想定される水深を表示した図面です。
(2) この浸水想定区域等は、現在の整備状況を踏まえて、対象河川の氾濫(堤防、遊水、越水)した
場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
(3) このシミュレーションは、対象外の河川及び内水による氾濫等を考慮していません。
2. 基本事項等
(1) 作成主体
(2) 公表年月日
(3) 対象河川
(4) 算出の前提となる降雨
(5) 関係市町
愛知県
令和2年4月10日
木曽川水系郷瀬川、新郷瀬川
郷瀬川流域の24時間総雨量312mm
一宮市、犬山市、江南市、小牧市、岩倉市、大口町、扶桑町

この図等は、中規模洪水被害の軽減を目的として、国土交通省(国土院)の委託を受けて作成されたものであり、国土院の承認を得て作成されたものではありません。また、本図等は、国土院の承認を得たものではありません。

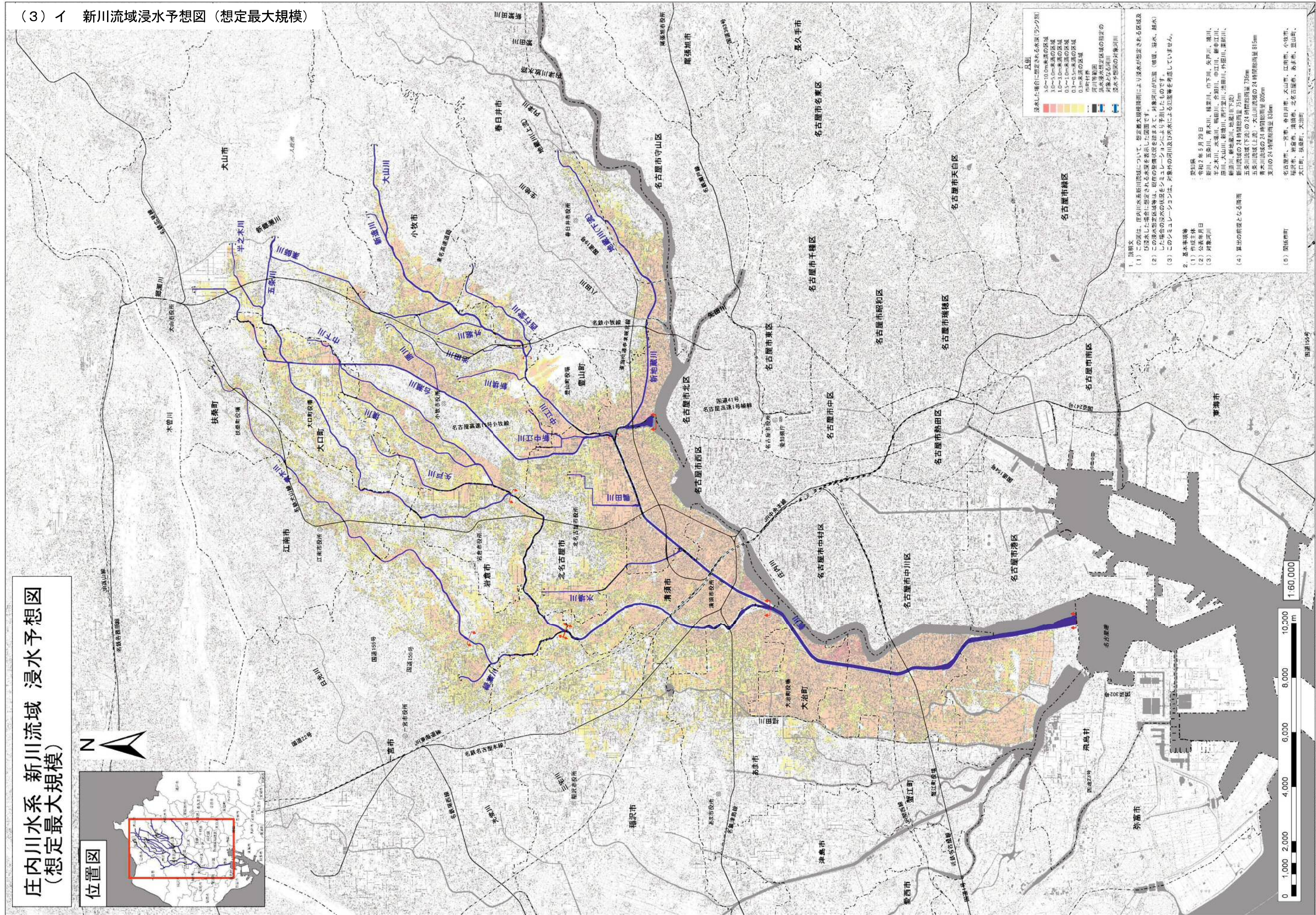
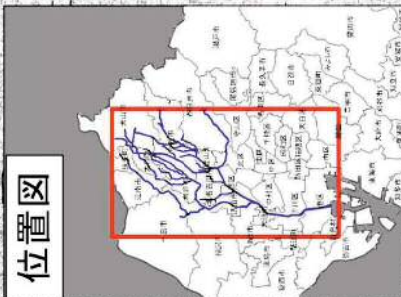
(3) ア 庄内川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

庄内川水系庄内川 洪水浸水想定区域図
(想定最大規模)



庄内川水系 新川流域 浸水予想図
(想定最大規模)

位置図



この成果は、中部技術事務所長の承認を得て、同事務所作成の航空レーサー測量成果(オリジナルデータ、オルソデータ、グリッドデータ)を使用したものです。(承認番号: 平成31年4月24日付国部中環共第7号)
この地図は、国土地理院の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号: 第1434号)

(3) ウ 新川流域浸水予想図（計画規模）

